

問1 かつて開催された国際的なスポーツ大会において、市民が提供した小型家電から回収された金属を使用してメダルが作られたプロジェクトがありました。このような活動が行われる主な背景として最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

1. 限られた資源を有効活用し、環境負荷を抑えた持続可能な社会を目指すため。
2. 日本国内の陸地には金属資源が全く存在しないため、廃棄物に頼るしかないから。
3. 海外からの輸入を一切停止し、すべての工業製品を国内資源のみで作るため。
4. 海底にある未知の資源を採掘する技術が未熟であり、開発が禁止されているから。

問2 不要になった電子機器から金などの資源を取り出す「リサイクル」の取り組みに関連して、日本の資源問題や環境対策の説明として正しいものはどれですか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

1. 携帯電話などの小型家電には多くの有用な金属が含まれており、これらを再利用することで資源の有効活用が進められている。
2. 資源の不足を解消するため、古い電子機器はすべて海外へ輸出し、現地で埋め立て処分することが法律で義務付けられている。
3. 金やレアメタルは自然界で無限に生成されるため、リサイクルよりも安価な海外からの輸入を拡大し続けることが推奨されている。
4. 小型家電からの資源回収はコストがかかりすぎるため、現在はすべて一般ごみとして焼却処分することが推奨されている。

問3 開発途上国の生産者が生産した製品を、一時的な寄付ではなく、適正な価格で継続的に購入することによって、生産者の生活改善や自立を支援しようとする公正な貿易の仕組みを何といいますか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. フェアトレード
2. 自由貿易
3. 保護貿易
4. 経済援助

問4 地球温暖化の仕組みと、近年の国際社会における状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 山口公立入試 類似）

1. 二酸化炭素などの排出が増えることで、地表からの熱が宇宙へ逃げにくくなり、地球全体の気温が上昇する現象を指す。
2. エアコンの冷媒などに使われる物質が大気中に放出され、紫外線を遮る層を破壊することで、地表の温度が急激に上昇する。
3. 工場や自動車から排出される排ガスが雨に溶け込み、強い酸性を示すことで、気温の上昇とともに森林を枯死させる。
4. 熱帯林の伐採が進むことで、植物による光合成の働きが活発になり、結果として大気中の二酸化炭素が急増する。

問5 地球温暖化対策をめぐる国際的な議論において、途上国が「先進国こそが率先して二酸化炭素の削減に取り組むべきである」と主張する主な根拠として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 18世紀後半からいち早く工業化を進めてきた先進国が、過去100年間の累積排出量の大部分を占めているという歴史的経緯があるため
2. 現在の年間二酸化炭素排出量は途上国の方が圧倒的に多く、先進国の最新技術を用いなければ削減が物理的に不可能であるため
3. 先進国は発展途上国に比べて人口が極めて少ないため、国民一人あたりの排出量を制限することが地球全体の環境保全に最も効率的であるため
4. 再生可能エネルギーへの転換は、過去に工業化を経験していない国々の方が設備投資の面で有利であるという国際的な合意があるため

問6 フェアトレード（公正な貿易）の取り組みにおいて、途上国の生産者の生活を守るために設定されている価格の特色として、最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 生産者の生活を支援するために設定される、国際価格に左右されにくい「最低価格」
2. 先進国の消費者が購入しやすいように設定される、国際価格よりも安価な「特別価格」
3. 為替相場の変動による損失を補填するために設定される、毎月更新の「変動価格」
4. 世界貿易機関（WTO）が加盟国に一律で義務付けている、世界共通の「固定価格」

問7 2015年に合意された「パリ協定」に関連して、現代の国際社会が直面している環境問題の現状と対策に関する記述として、正しいものはどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 世界の平均気温の上昇を抑えるため、各国が温室効果ガスの削減目標を5年ごとに更新する仕組みがある
2. 1970年代の石油危機をきっかけに、世界全体で化石燃料の使用を全面的に禁止することが決まった
3. 二酸化炭素は温室効果ガスに含まれないため、パリ協定では排出規制の対象から外されている
4. パリ協定は経済発展を優先するため、途上国に対しては一切の環境対策を求めている

答え合わせ・解説

問1	答え 1 限られた資源を有効活用し、環境負荷を抑えた持続可能な社会を目指すため。	携帯電話やパソコンから資源を回収するプロジェクトは、単なる材料調達だけでなく、リサイクルへの意識を高める目的があります。金などの貴重な資源を再利用することは、自然界からの過度な採掘を抑制し、廃棄物を減らすことにつながります。これは「持続可能な開発目標（SDGs）」にも通じる、資源循環型社会を構築するための重要な取り組みです。
問2	答え 1 携帯電話などの小型家電には多くの有用な金属が含まれており、これらを再利用することで資源の有効活用が進められている。	日本は多くの鉱物資源を海外からの輸入に頼っていますが、都市鉱山と呼ばれる廃棄物の中には膨大な量の有用金属が眠っています。小型家電リサイクル法などの制度を通じて、携帯電話やパソコンなどを適切に回収・処理することで、金などの高価な金属を再び産業活動に利用する仕組みが整えられています。これは、資源を輸入に頼り続ける「輸入拡大」とは異なる、国内での自律的な資源確保の手段となります。
問3	答え 1 フェアトレード	開発途上国の生産者は、国際市場価格の変動や安価な買い叩きにより、労働に見合った対価が得られず貧困に苦しむことがあります。この課題に対し、生産者の自立を促すために公正な価格での取引を継続する仕組みがフェアトレードです。先進国からの一方的な「援助」ではなく、「対等なパートナーとしての貿易」を通じて社会問題を解決しようとする点に特徴があります。
問4	答え 1 二酸化炭素などの排出が増えることで、地表からの熱が宇宙へ逃げにくくなり、地球全体の気温が上昇する現象を指す。	二酸化炭素などの温室効果ガスが濃度を増すことで、地表から放出される熱がさえぎられ、大気が過剰に暖まるのが地球温暖化のメカニズムです。この問題は一国で解決できるものではないため、主要国首脳会議（サミット）や気候変動枠組条約締約国会議（COP）といった国際会議において、排出削減に向けた具体的な議論が続けられています。
問5	答え 1 18世紀後半からいち早く工業化を進めてきた先進国が、過去100年間の累積排出量の大部分を占めているという歴史的経緯があるため	産業革命以降、早くから工業化を達成した先進国は、長期間にわたって経済発展を優先し、多量の二酸化炭素を排出してきた歴史があります。2015年までの過去100年間の累積排出量の割合を見ると、特定の先進国グループが全体の6割以上を占めているという統計もあり、現在の排出量だけでなく「過去の蓄積」についても責任を負うべきだという考え方が主張の背景にあります。
問6	答え 1 生産者の生活を支援するために設定される、国際価格に左右されにくい「最低価格」	フェアトレードの最大の特徴は、弱い立場にある生産者に対し、正当な対価を支払うことです。国際市場での取引価格は、天候や投機的な要因で大きく変動しますが、フェアトレードによる買い取り価格は一定の最低ラインを下回らないように設定されています。これにより、生産者は将来の見通しを立てて生活や生産活動を継続することが可能になります。
問7	答え 1 世界の平均気温の上昇を抑えるため、各国が温室効果ガスの削減目標を5年ごとに更新する仕組みがある	パリ協定では、長期的目標の達成に向けて、各国が自ら決定する削減目標を5年ごとに提出・更新することが求められています。また、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスを削減し、今世紀後半には排出量と森林などによる吸収量を均衡させる（カーボンニュートラル）ことを目指しています。